

第二十二回帝國議會 明治三十八年勅令第百九十四號(承諾ヲ求ムル件)委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治三十九年二月二十日午後三時九分開議

出席委員左ノ如シ

元田 肇君

長 晴登君

化井 卓藏君

山田 平太郎君

米田 武八郎君

吉植 庄一郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 法學博士阪谷 芳郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏次官 若槻禮次郎君

大藏省理財局長 水町袈裟六君

臨時國債整理局書記官 勝田 主計君

大藏書記官 永濱 盛三君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

明治三十八年勅令第百九十四號(承諾ヲ求ムル件)

○委員長元田肇君 ソレデハ是ヨリ明治三十八年勅令第百九十四號ノ委員會ヲ開キマス

○長晴登君 此問題ハ公債募集ニ關スルコトデ、簡單ナモノデアルケレドモ其當時民間デモヤカマシク言フタ議論デ、憲法上カラ言ヘバ、臨時議會ヲ開イテ、而シテ議會ノ協賛ヲ經ネバナラヌトコロノ性質ノモノデアラウト思ヒマス、ソレニ付イテハ此當時ノ狀況ニ付イテ御質問ヲ申シタイ、第一ニハナゼ臨時議會ヲ開カナカッタデアルカ、第二ニハ之ヲ内債募集ト云フコトニセズシテ、外債ニシナケレバナラヌト云フ事情、ソレカラ第三ニハ外債募集ヲスルトシテ見テモ、臨時議會ヲ開クコトヲ得ザル事情、經濟上何カ其處ニ都合ガアッタデアルカドウカ、第四點ニハ此問題ハ既ニ憲法ノ第八條ト第七十條ニ據ッテ發布シタモノデ、憲法ノ第七十條ニ據レバ、一時ノ處分ニ屬シタモノデアッテ、此問題ニ對シテハ承諾ヲ與ヘヌデモ、此實質ノ公債募集ニハ、今日ハ何等ノ影響ガナイ、即チ實質ニ於テハ今日ハ承諾ヲ與ヘテモ與ヘナイデモ、ドッチデモ同シヤウニ考ヘテ居ルカ、其點ニ付イテ政府ノ解釋ハドウデアルカ、此四點ニ付イテ伺ヒタイ

○花井卓藏君 同ジコトデゴザイマスガ、問ヒ方ヲ變ヘマシテ御答ヲ願ヒタイ、私ハ第一ニ長君ノ御問ノヤウナ趣意デナクシテ、當時内外ノ狀況ハ帝國議會ヲ開クコト能ハザリシ形勢デアッタデアアルカ、是ヲ一ツ御尋ネシタイ、先例ニ據ッテ見マスルト、帝國議會會ノナカリシ場合、即チ議會ノ解散セラレタル時、又ハ當時議會ガ終了ヲ告ゲ、總選舉ニ係ッテ居ル時ニシテ、未ダ議會ナルモノガ存在セザリシ場合ニ於テ、七十條ノ緊急勅令ヲ發セラレタコトハ、一ツニアルヤウ記憶シテ居リマス、ソコデゴザイマスカラシテ、本案ニ付イテ内外ノ形勢ハ帝國議會ヲ召集スルコトガ出來ナカッタモノデアリシヤ否ヤト云フ事實ヲ一ツ承リタイ、ソレカラ第二ニハ是モ長君ノ御尋ネデゴザイマスガ、問題ニ係ッテ居ル案件ハ、固ヨリ一ノ財政上ノ必要處分ニ相違ゴザリマセヌガ、此財政上ノ必要處分ト云フモノハ、處分終了ト同時ニ效力ヲ發生スルデアルカラシテ、是ハモウ質

問マデモナク、爭ヒノナイ點デゴザイマスカラシテ、固ヨリ是ニ承諾ヲ與ヘマセヌニシタコロデ、效力ハ當然ニアルデアアル、效力ハ當然ニアルデアリマスカラシテ、法律ニ代ハルベキ勅令、即チ憲法第八條ニアル如ク、將來ニ向ッテ效力ヲ失スルモノデハ無イカラシテ、憲法ノ面目ヲ保ツ上ニ於テ、政府ノ要求ハ寧ロ承諾ヲ與ヘザルヲ可トスル御趣意デアッテ、此案ハ承諾ヲ與ヘラレザル方ガ、立憲内閣ノ面目ヲ存スル所以デアルト存ジマスカラシテ、贊成ナサル方モアルデアラウト存ジマスガ、寧ロ贊成セヌ方ガ今ノ政府ノ憲法ヲ解釋スルニ適當ノモノト信ジテ宜イト確ク信ジテ居ル、此二ツノ點ヲ御尋ネテ願ヒマシテ、贊否ヲ決シヤウト思ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 此緊急勅令第百九十四號、即チ三十八年ノ七月ニ發布ニナリマシタ此必要ノ點カラ先ツ御話ヲ致シタイト考ヘマスガ、此通常議會ハ、アレハ三月ニ丁度終了致シマシテ、種々御協賛ヲ經マシタモノハソレゾレ實施シテ參ッタンデゴザイマスガ、尙丁度高橋副總裁ガ三十八年ノ三月奉天ノ軍ノアリマシタ頃ニ、三億ノ英貨公債ヲ募集致シマシタノデ、ソレデ大體支辨ノ付イテ往ク見込ヲ持ッテ居リマシタノデゴザイマス、又其後ニ對馬ノ海峽ノ海戰ガアッテ、平和ノ話モ始マッテ來ルト云フヤウナコトデ、餘程將來ニ於テハ平和モ恢復セラレル以上ハ、軍費ノ方モ段々減ッテ往カラ都合ガ好クナルト云フ考ヲ持ッテ居ッタンデゴザイマスガ、段々平和ノ談判ノ申込ガアッテカラノ狀況ト云フモノガ――愈々此談判ガ成立スルヤ否ヤト云フコトニ付イテハ、是ハ誰シモ請合ノ付カヌコトデアアル、ソレカラシテ一方陸海軍ノ方ノ準備ハ、段々戰局ノ發展ニ伴ヒマシテ、非常ニ費用ヲ多ク要スルコトニナッテ參リマシタ、即チ奉天陷落後、追々哈爾濱ノ方ニ向ッテ進軍致シテ往クト云フ準備ニ取掛リマスニ付イテハ、兵數モ増サナケレバナラヌ、非常ニ巨額ノ金ヲ要スル、ソレデ既ニ御協賛ヲ經タモノデハ到底足りナイト云フ見込ガ分ッテ參ッタンデアアル、此時ニ於テ平和ト云フモノハ、談判ガ終了シタ曉デナケレバ愈々成立スルカシナイカ期セラレヌ、豫メ平和ガ成立スルト云フコトヲ豫期スルコトハ出來ナイ、故ニ陸海軍ニ於テモソレトノ北ニ向ッテ進ム準備ヲスル譯ニナッテ居ルノデ、サウ致スト云フト、我國ノ力ヲ段々考ヘテ見マスルト、既ニ開戰後二十箇月ニモ垂ントスルヤウナ譯デアリマスカラ、最初ノ年ニ於テハ、内地デ調辦ノ出來ヌ品物モ、段々外國デ調辦シナケレバ調ハヌト云フヤウナコトニナリマシタノデ、例ヘバ軌道ニ致シマシテモ、或ハ汽車ノ車、或ハ其「ロコモチーフ」ナドニ致シマシテモ、其外諸般ノ材料ガ段々不足ニナッテ來テ、又馬ノ如キモ餘程民間カラ徵發シタモノデアアルカラ、モウ此以上民間デ徵發スルト云フト、農事ナドニ使フテ居ルモノヲ皆連レテ往カナケレバナラヌト云フヤウナコトデアリマスカラ、是モ外國カラ購入ヲ要スルヤウニ、諸般ノ準備ガドウシテモ外國ニ供給ヲ仰ガネバナラヌモノガ多クナッタノデ、從ッテ外國ノ仕拂ト云フモノガ、前途非常ニ殖ヘルト云フヤウナ傾キニナッテ來タノデス、ソコデ政府ノ考ニ於テモ、一面平和ガ果シテ成立スルカ成立セヌカト云フコトハ期セラレヌコトデアッテ、軍隊ト云フモノハ、ドコマデモ進行ヲ中止スル譯ニハイカナイ、一方ニハ前途外國ノ仕拂ガ非常ニ増ス、是ニ於テ如

何ナル財政ノ策ヲ立テネバナラヌカト云フニ、其仕拂ニ應ズルノ方法手段ト云フモノヲ立
テルニアラザレバ、此以上戰爭ヲ繼續シテ往ク財源ニ窮スルノミナラズ、殊ニ外國仕拂ニ
要スル正貨ニ缺乏ヲ來タス虞ガアル、因テ相當ナ時期ニ於テ外債ヲ起スコトが必要ト認
メマシタ、然ルニ其當時段々外國ニ派遣シテアリマスルモノニモ、電報ヲ發シマシテ、外
國市場等ヲ追テ探テ見タノデスガ、二月募集シタ三千万磅ノ公債ノ未ダ拂込モ終ラ
ズ、又此以上更ニ三千万磅ノ公債ヲ募集スルト云フコトハ、殆ド外國市場ニ於テモ堪
ヘヌ、サウドウモ同シ國ノ同シ種類ノ公債ガ直グニ後トカラ出テ來ルト云フコトデア
ル、如何ニ同情ヲ寄セテ居ル國デアデモ、サウ引受ヲスルノニ困ル、殊ニ如何ナル場合ニ於
テモ、前ニ募ラタ公債カラマダ僅カシカ月ヲ經ヌ又募ルト云フコトハ、ドウモ宜クアルマイ、
況ヤ前ニ募ラタ分ノ割當ノ拂込ガ終ラヌニ、サウ云フコトナサルノハ宜クアリマスマイト云
フ狀況デアリマシテ、其話ニ依テ見ルト云フト、殆ド募債ト云フコトハ困難ノ有様デア
リマシタ、現ニ募債ノタメニ出テ居リマスル委員モ、一應ハ既ニ倫敦ヲ立テ米國ニ渡
テアリマシタ、ソコデ政府ニ於テモ種々内議ヲ盡シテ見タノデアルガ、ドウシテモ此際此戰
争ノ前途ヲ見レバ、茲デ巨額ノ外債ト云フモノヲ起スト云フコトハ、ドウシテモ必要デア
ル、因テ更ニ委員ノ方ヘ電報ヲ發シテ、ソレハ成程一應サウ云フ理窟モアルカモ知レヌガ、
日本政府ガ決シテ外債ヲ募ラタ戰爭ヲ繼續スル意思ヲ持ツノデハナイ、ドコマデモ露國ノ
方カラ平和ノ態度ヲ以テ參ルナラバ、固ヨリ此日本ハ應ズルノデアル、ケレドモ未ダ談判
ノ結了セザルニ先ツテ、豫メ平和ニナルトモナラヌトモ極メラレヌカラ、此募債ガ出來タ
以上却テ平和ト云フモノヲ早カラシムルトモ、此募債ノ出來タメニ平和ヲ遲カラシム
ル實ガ毫モナイ譯デアアル、決シテ日本ガ戰ヲ好ムト云フ意思ノナイト云フコトハ能ク明カニ
シテ貰ヒタイ、サウシテ募債ノ相談ノ成立ツヤウニ盡力シテ貰ヒタイ、ト云フコトヲ更ニ申シ
テヤリマシタ、サウ云フコトノタメニ、餘程往復ニ時日ヲ費シテ居ル、所ガ段々其話ガ進
ミマシテ、到底此七月ヲ經過スルト、重モナル資本家ガ皆避暑ニ出掛ケテシマフ、七月
ガ經過シテ避暑ニ人ガ出掛ケルヤウニナツデハ、如何ナル御相談ガアツデモ、相談ニ乘ル
人ガ居ラナクナルカラ、困難デアルカラ、是非トモ資本家ノ重モナル人ノ避暑ニ散セヌ前
ニ、此話ヲ繼メルコトニシテ見マセウト云フコトニナリマシタ、サウシテ段々交渉シタ結果、
段々募債談ガ成立ツ見込ガ附キマシテ、此緊急勅令ノ發布ヲ仰グニ至リマシタ次第デア
リマス、事情是ノ如クデアリマスルカラ、此議會ヲ召集シテ、其御協賛ヲ經テカラ、募債
ノ談判ニ取掛ルト云フコトハ、其當時到底餘日ガゴザイマセナシ、サウ云フコトヲシテ
居ル中ニハ、或ハ既ニ暑中休暇ニ移ツテシマフ、イロ／＼困難ノ上ニ更ニ困難ヲ加ヘル
コトニナツテ來ルト云フ場合デアリマシタ、而シテ一方此募債ノ必要トスル事情ハ、前申
シマシタヤウナコトデ、之ヲ止メルト云フコトハ、非常ニ國ノ前途ニ對シ、國家ガ執ルベキ
態度ノ強弱ノ上ニ於テ非常ナル不利益ガアツタノデアリマス、サウ云フヤウナ次第デ、
是ハ政府ニ於テ責任ヲ以テ緊急ノ處分ヲ致シタノデアリマス、之ニ向ツテ議會ガ必ズ御
承諾ヲ御與ヘ下サルコト、確信致シマスルノデゴザイマス、又御承諾ガナイト云フコトデア
リマスレバ、大變ニ是ハ斯ウ云フ國債ト云フヤウナ國家ノ信用ニ依ツテ成立ツテ居ル法令
デゴザイマスカラシテ、其信用ニモ關係ヲ及ボスカト云フコトヲ懸念致シマスノデ、是ハ是

非共ニ御承諾ヲ仰ガナケレバナラヌ、又事情ガ必ズ御承諾ヲ御與ヘ下サルデアラウト信
ジマスルノデゴザイマス

○花井卓藏君 私人問ニ對スル答ハ得タカノ如ク得ザルカノ如ク聽取リマシタガ、私ノ
問フノハ當時緊急需用トシテ二億ノ外債ヲ募集スル逼迫ノ事情ノアツタコトハ事實ト承
リマスルガ、其方ノ側カラ見ズ、政府ノ方ノ側カラ見テ内外ノ狀況ハ帝國議會召集不
能ノ有様デアツタカドウカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 今申シマスル通、議會ヲ召集スルノ餘地ガナイノ
デ、一方ニ於テ募債談ガ出來テカラ、議會ヲ召集スルト云フコトハ最早時日ガナイ、又
募債談ガ出來ルヤラ出來ヌヤラト云フコトハ、今申シマシタ如ク、非常ニ困難ナ場合デ
其見込ガムカシカッタヤウナ時期デアリマスカラ、到底議會ヲ召集スルトハ時日ガ許サ
ナカッタ、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○花井卓藏君 理窟ニ涉ル點ハ先ツ御尋ネハ致シマセヌガ、政府ノ見ルトコロデハ、通
則ナラバ臨時議會ヲ必ズ開カンケレバナラヌ性質ノモノデアルト、憲法七十條ノ趣意ヲ
御解釋ニナルモノト見テ宜シイカ、原則トシテハ……

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 時日ガ許シマスルナラバ、御問ノ通デアルト考ヘマス
○花井卓藏君 此勅令ノ出マスル道行、又道行ニ伴フ談判ノ有様、ソレカラ當時交
渉往復ノ始末等ハ承リマシタガ、ソレニ日月ヲ冠ラセテ承ハラナケレバ、日月ヲ除イテ緊急
逼迫ノ事情ヲ述ベラレタコロガ一向分ラナイ、若シ此間ト問ノ日月ガアツタナラバ、確カ
ニ臨時議會ヲ開カレラノデアルカラ、憲法ノ條項ヲ充タスコトガ出來レ譯デアツタナラバ、確
カニ是ハ違憲デアルト言ハネバナラヌカラ、一々日月ヲ冠ラセテ詳細ナル説明ヲ得タイ

○政府委員水町袈裟六君 政府ノ方デ第四回ノ外債ヲ發行スルト云フ必要ノアルコ
トヲ略々認メマシテ、サウシテ財務委員ノ方ヘ、第一回ノ電報ヲ發セラレタノガ、三十八年
六月十四日デゴザイマス、是ガ初メデゴザイマス、丁度此當時ハ財務委員ハ七月三日
ノ「バンク・パ」發ノ汽船デ日本ニ歸ルト云フ用意ヲ致シテ居リマシタ際デゴザイマス、是カ
ラ外國資本家トノ交渉ヲ直チニ始メマシテ、其間ニ先刻大藏大臣ヨリ説明ニナリマシタ
通、種々ノ困難ナ事情ニ付イテノ電報ガ、茲ニ澤山ゴザイマス

○長崎登君 凡ソ何通程ゴザイマス

○政府委員水町袈裟六君 三十通カ四十通ゴザイマス、ソコデ今日ハ發行ニ適當ナ
時機デナイノデアルカラ、コチラデ發行シマシテモ望ミガ乏シイ、ソレデ自分ハ歸ラウト云
テ來テ居リマスルノハ、六月十五日附ノ電報デゴザイマス、コチラヘ着イタノハ多分十七
日ニ着イテ居ルデラウト思ヒマス

○委員長元田肇君 唯今ノハ返電デゴザイマス、返電デナク向フカラ……

○政府委員水町袈裟六君 返電デゴザイマス

○委員長元田肇君 六月十四日ニ打ツ電報ノ返事ガ、十六日附デ返電ガ來タノデ
スカ

○政府委員水町袈裟六君 十四日ノ正午ニ打チマス、向フヘ着キマスノガ十五日
ノ正午頃ニ着キマス、一日違ヒマスカラ、ソレカラ「段々談判ヲ重ネマシテ、凡ソ發行ノ出
來ル方ニ傾キマシタ」ノガ七月ノ四日デゴザイマス、四日ノ電報ニ依リマシテ、凡ソ出來サ

ウニ傾イタト云フコトガ分リマシタ、ソレハ倫敦カラデゴザイマス、ソレカラ此抵當ニ關スルコト、利息、ソレカラ發行ノ額面、發行ノ場所、即チ英米獨三箇所デゴザイマス、ソレカラ發行價格、之ニ付キマシテ協定ガ凡ソ成立チマシテ、ソレヲ基礎トシテ發行スルコトヲ承諾致ス旨銀行側ヨリ申出タト云フコト、電報ガ着キマシタノガ、七月ノ五日デゴザイマス、是カラ後ハソレヲ基礎トシテ契約書ノ箇條ヲ拵ヘル、又勅令ノ制定ニナリマス、ソレ等ノ箇條ノ要點、ソレ等ニ關シテノ往復ガアッタデゴザイマス、サウシテ愈「プロスペクタス」ヲ發行致シマシタノガ七月ノ十日ノ夕方デゴザイマス、其電報ガ七月ノ十一日ニコチラニ着シテ居リマス、勅令ノ發布ガ八日ニナッテ居リマス、日附ノ順序ヲ申シマス、此通デゴザイマス

○花井卓藏君 第四回ノ外債ノ必要ヲ認メマシタノハ、三十八年ノ六月十四日デサウデゴザイマスガ、政府ハ外國ノ資本ノ有様ニ依ツテムツカシキモノデアルト云フコトニナッタナラバ、其ムツカシイモノデアルト云フデケノ一遍ノ電報デ、此募債ト云フモノヲ止メル御趣意デアッタトハ信ジナイ、大藏大臣ガ申サル、如ク三億圓ノ募集ヲシナケレバ、當時ノ需用ヲ充タスコトガ出來ナカッタト云フ、ソレニ一決シタノガ六月ノ十四日デアルナラバ、如何ニシテモ此募債ノコトハ斷行シナケレバナラヌト解釋シナケレバナラヌト考ヘマス、果シテ然リト致シマスレバ、六月十四日ノ當日、若クハ其間數日ヲ閱シマシタコロデ、盛ニ政黨各派ノ人々モ臨時議會ヲ要求シテ居リマシタノデゴザイマス、又當時ノ事情モ諒トシテ居ッタノデゴザイマスカラシテ、無論憲法ノ要求スル通ニ、臨時議會ヲ召集サレマシテ、此事柄ノ御相談ガアッデ、當然ノ法律ニ依ツテ募債ノコトニ御着手ニナッテ然ルベキコトデハナイカト思フノデゴザイマス、大藏大臣ハ是ニ不承諾ヲ與ヘラレデハ、事外債ニ關スルコトデモアルカラシテ信用ヲ失スルト言ハル、無論其通デアラウト思フ、今日信用ヲ失スルト云フ事柄ハ、其當時ニ於テモ憲法ノ要求スル通ノ筋道デヤッタナラバ、斯ル變例ヲ取ラズニヤッタナラバ却テ其當時ニ於テ信用ヲ増スベカリシ事情ガアッタデハナカラウト考ヘマス、然ルニ經過ヲ承レバ六月十四日カラ七月八日マデハ確カニ日子ガアッタ、其間資本家ノ事情ト云フモノヲ詳カニシテ、ドウセイケナイモノナラバ止メヤウト云フ話デアッタナラバ、此戰爭ノ支出ニ充ツル金ト云フモノハ、無イ儘デ軍ヲ遂行スル御考ヘト見ナケレバナラヌ、サウ云フ財政設計ト云フモノハアルベキ筈ハナイカラシテ、無論非立憲內閣ト雖モ、阪谷君デケハ信用シテ居リマスカラ——或ハ又阪谷君ノ入智惠ニナツタモノデアルト確信致シマスカラ、何故六月十四日カラ七月八日マデ議會ニ募債ノ件ヲ御諮リニナラナカッタカト云フコトヲ、阪谷君ニ多大ノ尊敬ヲ拂フテ居リマスカラシテ、此點ヲ一ツ聞キタイ

○政府委員水町袈裟六君 唯今ノ日附ノコトニ正誤スルコトガ一ツ起リマシタカラ——唯今ノ望ガナイカラシテ引揚ケテ來ルト云フ電報ヲ打チマシタ日附ヲバ、六月十六日ト申シマシタガ、二十一日デゴザイマス、二十一日午後九時ノ着電デゴザイマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 是ハ今花井君ノ御話ニハ、私が前內閣ニ居ッダヤウナ御話デアリマシタガ、私ハ前內閣ニハ居リマセヌ人間デゴザイマス、(花井卓藏君「前內閣ノ手足ダッタ」ト呼フ)其當時ノ事情ハドウモ事實ニ於テ議會ヲ召集スル時間ト云フモノハ許サナカッタノデアリマス、或ハ縱シバ四十日ト云フ期限ヲ假ニ省略スルモノト

シテ見デモ、募債ガ愈々見込ガ付イテ居リマセヌト、議會ヲ召集シテ募集ガ出來ヌト云ウコトデアッデハナリマセヌカラ、募債ノコトモ愈々見込ガ付クト云フマデハ、極メテ秘密ニシテ、高橋氏ニモ一二ノ人ニシカ話サセヌ、到底見込ガ付カヌトキニハ捨テシマフヨリ外仕方ガアリマセヌ、併ナガラ花井君ノ言ハレル通ニ軍事其他ノ計畫ノ上ニ付イテハ、ドウシテモ貫シカナケレバナラヌコトニアリマスカラ、其際極力強ク高橋氏ノ方ハ再三再四押返シテヤッタニハ相違アリマセヌガ、政府ト致シマシテハ見込カ略々付カヌ以上ハ議會ヲ召集スルコトハ當時ノ事情許サナカッタモノト私ハ信ジマス

○委員長元田肇君 三ヨット一ツ御問申シマスガ、現任大藏大臣ニ御尋シテハ御分リニナリマセヌカ知レマセヌガ、外債ハサウデアラウガ、内債又ハ外債ヲ募集スルト云フコトデ、豫メ議會ヲ召集スルコトハ出來ハシナイカ、此三億圓ト云フモノハ出來ナカッタナラバ止メニシヤウト云フヤウナコトデハ、滿洲軍ノ始末ガ附カヌ、ドウシテモ内債ナリ、外債ナリ、租稅ヲ増ストカ、何レカノ方ニ資金ヲ備ヘナケレバナラヌト云フコトハ、前政府ノ早ク分ッテ居ラナケレバナラヌコトデハナカッタカト云フコトガ、マダドウモ其モウ少シ御辯明ガアッタラバ、吾々委員ニ於テ大ニ考慮ニナリハシナイカト思ヒマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 是ハ委員長モ御承知ノ通ニ、此内債デゴザイマス、内債ハ實ハ此三十八年ノ春ニ二億早ク募ッテ、直ク跡又募ル餘地ヲ存スルト云フノデ、財政ノ當局者ノ方デ、非常ニ骨ヲ折リマシタノデアリマスガ、ドウシテモ一時ニ二億募ルト云フコトハ、日本ノ其當時ノ金融界デハ出來ナイ、餘程マア私ナドハ頑固ニ其二億說ヲ主張シタケレドモ出來ナイ、ソレヲ據處ナシニ、丁度二回ニ割イテ、一億二億ト後ト一億ハ五月デアッタト思ヒマスガ、發表致シマシタヤウナ次第デ、内債ヲ此上近クソレニ接近シタ時日ニ於テ募集スルト云フコトハ、到底ムツカシイノデゴザイマス、ソレデハマア外債ニ據ルノ外ハ、此到底募債ノ計畫ヲ立ツル上ニ於テ他ニ策ハナカッタ、而シテ今委員長ノ御尋ノモウ少シ前ニ政府ノ計畫ヲ附ケタラバ宜カッタラウト云フ御話デアリマスガ、是ハ其外交ト軍事トノ進行ニ依ツテ、マア財政ノ方モ始終方針ヲ極メテ往キマスカラ、マア其當時ノチヨット考ヘ、奉天ノ戰爭ト云フモノガ、結果如何ト云フモノガ、一ツノ此日露戰爭ノ段落ハアルマイカト云フ考ヲ餘程強ク持ッテ居ッタ、又現ニ内外一般ノ人モ左様ニ信ジテ居ッタデアリマスガ、不幸ニシテ此奉天ノ戰爭ト云フモノハ、此平和ノ機會ヲ生ズルニハ至ラナカッタ、露國ノ「バルチック」艦隊ト云フモノガ、段々々々コッテヘ押寄セテ來ル、其露國ノ艦隊ガ押寄セテ來ルニ從ツテ、露國ノ態度ハ益々強硬ニナッテ來ルト云フヤウナ有様ニナッテ來タ、サウ云フ譯デ詰リ形勢ノ如何ト云フモノヲ察シテ、成ルベク募債ト云フモノヲセズニ往キタイト云フ考デアリテ、其方ノ計畫ニ着手セズニ居ッタ、其事ガ或ハ甚ダ先見ニ乏シカッタト云フ御阿リヲ蒙レバ、成程今日ノ結果カラ云ヘバ、甚ダ先見ニ乏シイ譯デアリマスケレドモ餘程其春一億二億ノ募債ヲヤリ、又外國デハ三千万磅ノ募債ヲヤッデ、尙其以上ニ接近シテヤルト云フコトハ、財政ノ計畫トシテハ隨分難儀ノ計畫デアッタデゴザイマスカラ、出來得ルナラバ此募債ハ九月頃ニシタイト云フコトヲ、餘程努メテ見タノデアリマス、サウ云フ次第デ今ノ豫メ計畫ヲ定メテ、早ク議會ヲ召集ニ着手スルト云フコトニハ至リ兼ねマシタノデ

○委員長元田肇君 質問ハアリマセヌカ——質問結了ト見テ宜ウゴザイマスガ、皆サン

ガナケレバ是デシマフト云フ考デ——ソレヲ引續イテソレデハ……

○花井卓藏君 私ハ此案ニハ尊敬ハ拂ヒマセヌ、私ノ憲法七十條ノ解釋ト云フモノハ、斯ル場合ニ於テハ議院成立セズ——議院成立ト云フト語弊ガアリマスガ、衆議院ナルモノガ存在シテ選舉ニ係ル議員ガ存在致シテ居ル以上ハ、無論臨時議會ヲ開イテ、サウシテ此問題ト云フモノヲ決定シナケレバナラヌモノト解釋致シテ居ル、憲法第七十條ニ明白ニ「緊急ノ需用アル場合ニ於テ内外ノ情形ニ因リ政府ハ帝國議會ヲ召集スルコト能ハサルトキハ勅令ニ依リ財政上必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得」斯ウ書イテアル、即チ内外ノ狀況ガ議會ノ召集ガ不能ナルト云フヤウナ場合ニアラザル以上ハ、必ズ帝國議會ヲ召集セシメバナラヌ、ト斯ウナッテ居ル、處分ノ目的ト云フモノガ緊急ナル、然ラバ緊急逼迫ノ場合ニハ、帝國憲法ノ第四十三條ノ規定ニ基キテ「臨時緊急ノ必要アル場合ニ於テハ常會ノ外臨時議會ヲ召集スヘシ」トアル、此規定ニ依リテ召集スレバ足ルコトデアル、此臨時緊急ノ必要アル場合ニハ、此條文ヲモ待ツコトガ出來ナイ、而シテ内外ノ狀況ハ東京市中ハ騷亂ノ狀態ニ居ルトカ、或ハ總選舉中デ此議會ト云フモノヲ開クコトハ出來ナイトカ云フヤウナ場合ニハ已ムヲ得マセヌケレドモ、其然ラザル場合ニ於テハ、心ズ其臨時議會ヲ開イテ、此問題ヲ解決セバナラヌノデアル、外債募集ノ目的タル資本家ノ模様往復ノ勞ヲ憲法ハ見テ居ルノデハナイ、議會ト云フモノガ開クコトノ出來ナイ有様デアルカ否ヤト云フコトヲ憲法ハ見テ居ナイ、御客ノ方デ見テ居ナイデアル、ソレデゴザイマスカラシテ、明白ニ憲法ノ條規ニ違フモノト私ハ信ジテ居ル、殊ニ大藏大臣ノ説明ニ依リテ見マスルト云フト、明治三十八年ノ六月十四日ニ四回ノ募債ノ必要ト云フコトヲ感シテ、而モ此募債ノコトタルヤ、是非如何ナル働キヲシテモ、如何ナル難境ニ處シテモ、必ズ遂行ヲセシメバナラヌ必要ヲ感シテ居タト云フコトヲ言明サレテ居ル、資本家ノ意向ニ問ウテ若シ不能ト云フ有様デアルナラバ、此外債ト云フモノハ止メル、言明セラレテ居ルノデハナイ、如何ニシテモ必ズ是非是ダケノ目的ハ達センケレバナラヌト云フ方針ヲ執ラレテ居タノデアル而モ六月十四日ノ日ニ憲法四十三條ノ規定ニ基キテ、臨時議會ノ御奏請ニナッテ——御奏請ノ御ノ字ヲ削リマス——奏請ニナッテ然ルベキモノト思ヒマス、前内閣大臣ト云フモノハ——然ルニ其奏請ヲモナサズシテ、此處分ニ出ヅルト云フ事柄ハ、憲法ニ違フコトヲ敢テシタト申スノ外ハ私ハアルマイト思フ、而シテ此案關シテデゴザイマス、信用云々ト云フ一事ガ案ノ命脈ヲ取ル所ノ一ノ種子ニナルカモ知リマセヌケレドモ、之ニ承諾ヲ與ヘナイ折ハ、外國ノ信用ヲ墜スデアラウカトハ大藏大臣ガ最後ニ申サレタ一言デアッデ、又此問題ヲ維持スル一ノ好材料ニ供セラル、カモ知リマセヌガ、三億ノ公債ヲ募集シテシマッタ今日デアル、未ダ此公債ヲ募集セザル以前ニコソ信用ノ必要モアルガ、既ニ募集シテシマッタ、是カラ後ノ問題ニ關スル信用ヲ維持スルニハ——今後ノ信用如何ハ、政府當局ガ此公債ニ對スル善キ始末ヲスレバ信用ヲ得ル、議會ノ承諾ヨリ事實ニ於テ善キ始末ヲ附ケルノガ、信用ヲ博スル所以デアリマス、又此問題ノ如キニ至リマシテハ、獨リ帝國憲法ノミデハナイ、何レノ國ノ憲法デモ、斯ル場合ニ承諾ヲ與ヘヌタメニ信用ヲ失スルコトハナイ、時ノ當局者ガ已ムヲ得ヌモノトシテ之ヲヤツタ、議會ハ審查ノ上内外ノ情形ハ議會召集不能トハ認メナカッタト云フダケノ爭デ、募債者ノ責任ニ何ノ響キモ及ボスモノデハナイデアリマスカラ、責任ハ無論日本帝

國ニアルノデアルカラ無効ニハナラヌ、議會ガ承諾ヲ與ヘズト雖モ、外債ノ責任ハ則チアル、憲法第八條ノ如ク與ヘナイ折ニ、將來效ヲ失フモノデハナイ、故ニ是ハ承諾ヲ與ヘテモ與ヘヌデモ此責任ト云フモノハ免レヌ話デアル、時ノ當局者ガ血迷ウテ、急イデ、憲法ノ條規ト云フモノヲ忘レテ居タケレドモ、併ナガラ今日ニナッテ研究シテ見ルト、其條規ニ基キバナラヌ性質ノモノデアルト云フコトダケヲ明白ニシテ、サウシテ外債ニ對スル責任ヲ帶ブルト云フ方ガ、却テ向フノ方ガ安心スル姿ニナルカモ知レヌト信ズルノデアル、餘リ感服シタ説デハナイカラシテ、茲ニ引用スル程有力ノモノトハ認メナイガ、一部ノ人が信仰シテ居ル伊藤伯ノ憲法論ニハ、帝國議會ヲ召集スルノ重モナルモノハ、則チ財政處分デアル、ソレ故ニ憲法八條ノ如キハ、政府ノ機宜ノ計ヒデ緊急勅令デヤルト云フコトガ出來マスガ、此七十條ノ場合ニハ斷ジテ臨時議會ヲ開クニアラザレバ出來ナイト立派ニアル、内外ノ狀況議會ヲ開クコトガ出來ヌ場合ヲ、何ト説明シテアルカト云ヘバ、國家不祥ノ時デアアル、ト斯ウ云フコトヲ言ッテ居ル、國家不祥ノ時トハ、例ヘバ内亂ガ東京ニ起ッテ、議會ヲ召集スルコトガ出來ヌトカ、總選舉中ニアッテ招カントスル議員ガナイ場合ヲ指スモノデアラウト思フ、是ノ如ク國家不祥ノトキ、或ハ召集スベキ議員ナキ故ニ不能ノ場合ニ限定シタモノト解釋致シマス、此以外ニ如何ニ辯護ヲシヤウト思ッデモ、辯護ノ途ガナイ、大藏大臣ハ内外ノ狀況議會ヲ召集ヲ許サヌト云フヲ、見ルベキ目ヲ議會其者ニ注ガズシテ、勅令ニ據ッテ達セントスルノハ、憲法ノ大ナル誤解デアル、尙一言添ヘテ置キマスルノハ、矢張此案ヲ維持スル重要ノ理由デアアルガ、秘密々々ト云フコトデ、固ヨリ掛引ノ場合ニハ秘密モアル、本員モ秘密デナケレバ、本件ノ如キハ責任ヲ保タヌト云フコトヲ認メマス、併ナガラ帝國議會ハ秘密會ト云フモノヲ開クコトヲ憲法ハ授ケテ居ル、即チ大藏大臣ノ言フ如キ場合ニハ秘密會ヲ開イテ、本案ヲ審議スルト云フ權能ヲ授ケテアル、六月四日ニ召集シテ十八日ニ議會ヲ開イテ秘密ヲ要スルナレバ、是ヲ秘密會トシテ、此案ヲ更定スルコトガ出來ルデアリマセヌカ、故ニ大藏大臣ノ言ハル、信用云々秘密云々ト云フコトヲ以テ、本案ヲ維持スルノ材料ニハナラヌト思ヒマス、ナゼ男ヲシク間違ッタモノハ間違ッテ宜シイガ、間違ッタノニ先方ニ迷惑ヲ懸ケテハ惡イケレドモ、憲法七十條ノ場合ハ先方ヘ迷惑ヲ懸ケヌデモ濟ム、ア、云フ折ニハ間違ヒサウナモノデアルト、綺麗サバリトサラケ出シテ、間違ッタカラト云ッテ、間違ッタモノニ承諾ヲ與ヘル譯ニハ參ラス、間違ッタ點ハ之ヲ答メ、サウシテ募集ノ緊急逼迫ノ事情ガアッタト云フ事實ヲ認メ置ケバ宜カラウト考ヘマス、故ニ折角ノコトデハゴザイマスガ、此問題ニ尊敬ハ拂ヘナイ、誠ニ御氣ノ毒デゴザイマスガ、御説明ノ趣意デハドウシテモ敬意ヲ拂フコトハ出來マセヌカラ、我ハ本案ニ反對ヲ致シマス

○長崎登君 此議會ヲ開カヌコトニ付イテ、憲法ノ精神ヲ適當ニ解釋シテ往ケナイト云フ點ハ、花井君ト歸着ヲ一ニシテ居リマス、併シ今日デハ大藏大臣モ先刻明言サル、如ク、前内閣ノ人間デハナイト明言シテ居ラレ、ソコデ此問題ヲ明カニサヘスレバ吾々ノ希望、足ルノデゴザイマス、此精神ヲ明カニスル方法トシテ強チ緊急勅令ニ承諾ヲ與ヘヌト云フダケデ達スルノデハナイ、承諾ヲ與ヘテモ之ヲ達スルコトガ出來ルデアラウ、ソレハドウデアアルカト云フナレバ、今ノ當局者ガ斯ウ云フ場合ニハ必ズ將來帝國議會ヲ開クト云フコトヲ言明スレバ當局者ノ精神ハ茲ニ明カニナルト云フコトニナリマス、其言明

有ルト無イトニ依ッテハ大變ニ違フ、是が適當ニ憲法ノ精神ニナッテ居ルト云フナレバ大變ニ違フ、若シツレガ將來ハ必ズ臨時帝國議會ヲ召集シテ協賛ヲ經ルコトニ致シマスト言ハ、今日ハ之ヲ相手ニ則チ是ハ違憲デアル、或ハ募集シタノカ惡ルイト云フテ賛成スルコトハ出來ヌケレドモ、違憲デハナイ、詰リ事情ノ見方違ッテ居ルト云フダケノ問題デ、其事情ヲ見タコトコロ、問題ハ居ラヌ、即チ前内閣デアル、違憲トハ別問題デアル、今日適當ニ憲法ノ精神ヲ遂行シナイト答メルハ、今ノ内閣ニ對シテ當局者ニ問ハナケレバ、吾々ノ權能ヲ以テ承諾ヲ與ヘルニ何ノ差支モナイ、且又事外國ニ關シテ居ル故、既ニヤツタモノヲ以テツレニ對シテ事々耳觸リノ不承諾ト云フヤウナ形式ヲ履マヌデモ私ハ此精神ハ明カニナラウト思ヒマスカラ、ドウカ此意見ヲ表明シテ貰ヒタイ

○山田平太郎君 私ハ唯今ノ長君ノ御説ト殆ド似テ居リマスガ、是ハ私ハ法律ハ知リマセヌガ、前例ニ依ッテ見マスレバ、二十七八年ノ戰役ニ一億圓ノタメニ、特ニ臨時議會ヲ廣島ニ開イテ承諾ヲセラレタコトガアル、然ルニ今日此緊急勅令ヲ發セラル、時分ハ、既ニ各派ヲ代表シテ居ル議員連中ガ、頻リニ臨時議會ヲ開カレンコトヲ請求シツ、アルニモ拘ハラズ、之ヲ開カズシテ、秘密ニ之ヲ行ハレタト云フコトハ、甚ダ宜シクナイコト、確カニ認メテ居ル、併ナガラ、今長君ノ言ハレタ通、必要ニ迫ッテ居ルト云フコトハ、國民モ承知シテ居ル、シテ見レハ已ムヲ得ヌトシテ承諾ヲ與ヘルト云フコトハ、同意致シマス、併ナガラ他日是非ノ如キ事ガアツタトキニ、或ハ拾億乃至拾五億ヲ緊急勅令ヲ以テ募債ヲシテ、承諾スルヤウナコトガアツデハ、國家ノ一大事デアリマスカラ、他日是非ノ如キコトガアツタトキハ、必ズ議會ヲ召集シテ協賛ヲ求メラレンコトヲ、豫メ此事ヲ明言サレンコトヲ……長君ニ贊成スル考デアリマス

○花井卓藏君 長サンノ御演説ヲ承ハリマスツ、大ニ臣ガ、前内閣ガ發シタル財政必要處分ノ緊急勅令ハ臨時議會ヲ待タナカッタノハ惡ルカッタ、將來ハ臨時議會ヲ開イテ御協賛ヲ仰グコトニスル、斯ウ云フ言明ヲ得レバ賛成ヲスル、斯ウ云フ趣意ニ承ツタノデアル、是ガ唯其ノ單一ナル一ノ問題デゴザイマスレバ宜イガ、私ハ大ニナ問題デアルト思フ、詰リ區々タル大藏大臣ノ言明ト憲法ノ要求ガ、ドチラガ大キイカ、小サイイカノ岐目ニナルノデアル、大藏大臣阪谷芳郎君、如何ニ發明ナリト雖モ、此言明ハ——憲法ノ要求ヲ取捨スルダケノ力ハナイノデアル私ハ大藏大臣モ其罪モ謝スル言明ヲ此處デスルト云フ事柄ニ相成リマスレバ、本員ハ之ヲ捉メテ現内閣ハ前内閣ノ非違ヲ自白シテ居ルト云フコトヲ議場ニ告白シテ、政友會諸君ニ同時ニ同情ヲ得ヤウト思フテ居ル、是デアリマスカラ、此言明ヲ得ンコトハ、長君ハ贊成ノ理由ニ於テ必要デアル、私ハ不贊成ノ理由ニ於テ必要デアル、之ヲ申上ゲテ置キマス、第二ニ長君ノ御説ノ中ニ是ハ前内閣ノシタコトデ、固ヨリ前内閣ノシタ事デアル、現内閣ノコトデアラナラバ御贊成シテモ宜イ、或ハシナイデモ宜イガ、ナニモ現内閣ハ前内閣ノ非違ノ行動ヲ保護スル必要ガナイデヤアリマセヌカ、前内閣ニ非違ノ行ヒガアツタラ、現内閣ノ基礎益々堅シト云フコトニナルノデ、濟ンダモノナラ仕方ガナイト云フ事柄ハ、匹夫匹婦ノ間ニ言フベキコトデ、濟ンダコトデモ法律ニ違ッタコトハ救済セヨト云フコトハ、憲法ガ命ジテアル、ツレデ私ハ憲法通致シテ戴キタイト斯ウ云フ考ヘデアル、濟ンダモノナラ仕方ガナイト云フ事柄ハ、若シ法律解釋ノ好材料ニ相成ルナラバ、憲法ノ條件ニ於ケル事後承諾ハ無用デアル、濟ンダモノナラ仕方ガナイ、

事後承諾ハ與ヘンナラヌト云ヘバ、事後承諾ヲ求メテ、物ノ實體、案ノ實體ヲ審査討究シテモ何ニモナラヌ、議會ハ有レドモ無キガ如ク、濟ンダモノナラ仕方ガナイト云フト、誠ニ何ニモナラヌ、是ハ濟ンダコトデアアル、大抵緊急勅令ハ法律ニ代ハルベキモノデモ財政上ノ處分デモ濟ンダモノデアアル、將來ニ於テ緊急勅令ガアルモノデナイ、大抵濟ンダモノニ係ル、獨リ緊急勅令ノミナラズ、決算デモサウデアアル、財政處分ノ終末ヲ告グル決算デモサウデアアル、非違ノ事實ガ決算ノ上ニアツデモ、濟ンダモノナレバ仕方ガナイト云フト、會計検査院モ無用デアル、帝國議會ノ協賛モ無用デアル、ノミナラズ濟ンダモノナラ仕方ガナイト云フトハ是認ト云フコトニナル、是認ト云フコトハ法律ノ文字デ云フト適當ト云フ言葉デアアル、是が適當ダトナルト、先例ニナッテ將來斯ル問題ノアツタトキニ、斯ウ云フ先例ガアルト云フコトニナル、サウ云フ場合ニハ將來如何ニスベキ、是ガ現内閣ヲ攻撃スルト云フコトデアリマスレバ、ツレハ御考ニナッデモ然レベキコト、信ジマスガ、現内閣ニハチヨットモ關係ガナイコトト思ヒマス、議會ガ開ケタカラ無論承諾ヲ求メル、承諾ヲ求メルタメニ出サナケレバナラヌガ、出シタメニ現内閣ノ責任ハ何ニモ生ジハシナイ、現内閣ニ無關係デアリマスカラ、ドウカソコマデ御審發下サレマシタナラバ、今一段ト云フトコロデアリマスカラ、ドウカ御贊成ヲ願ヒタイ

○委員長元田肇君 チヨット御尋ネシマスガ、此内閣ガ——現内閣ガ發シタモノハ善イトカ惡ルイト云フコト……

○長崎登君 ツレデカラ私ガ言フノデアリマス、花井君ハ實ニ頭ノハッキリシタ人デアルト云フコトヲ知ッテ居ッタガ、今日ハ耳ノハッキリセヌト云フコトヲ發明シタ、私ノ言フノハ此問題ニ付イテハ、前内閣ノヤツタモノデアアル、憲法ノ命ズルコトニ依ッテ與ヘタモノデアアル、唯斯ウ云フコトガ度々アツデハイカヌカラ、將來大藏大臣ガ詰リスウ云フ場合ニ於テハ、必ズ臨時議會ヲ開クト云フコトヲ將來ノ事ニ付イテ言明サレタイ、無論大藏大臣トシテ現内閣ノ事情ヲ見タコトニ付イテ、事情論デアアル、其事情ト云フコトニ付イテ、判斷ヲ下セト無理ニ注文ハシナイ、詰リ此臨時議會ヲ開クコトガ出來ナイト云フコトガ事情論デアツデ、憲法論デアアル、緊急勅令ヲ發シタ、ツレフヤツタコトニ付イテハ——大藏大臣ハ此案ノ出來タコトニ付イテハ、ドウ云フ御考デアアルカト云フコトヲ御聽キスルノデナイ、將來ニ於テ斯ウ云フコトノナイヤウニシテ貰ヒタイト警告スルノデアアル、其警告ニ應ジテサヘ與レバ宜イノデアリマス、ツレカラ花井君ノ此案ニ付イテ種々ノコトヲ言ハレケレドモ、現内閣ガ出シタカラドウ、現内閣ハドウト云フ意味ハナイ、此案ハ議會ニ開カズヤツタト云フコトノ一ノ形式——公債募集案ト云フ緊急勅令、法律ニ代ッテ緊急勅令ヲ以テ一種ノ法律ヲ出シタノデアリマスカラ、之ニ對シテ募集シタト云フコトニ付イテハ、吾々ハ別段異存ハナイノデアアルト云フコトヲ言フノデアツデ、茲ニ吾々ノ精神ガ此處デ明カニナッテ居レバ、殊更不承諾ヲセズトモ、形式ハ別ニ差支ナイカラ承諾ヲ與ヘテモ宜イ、唯將來斯ウ云フ事ガナカラコトヲ希望スルガ故ニ、此希望ニ應ズル考ヲ持ッテ貰ヒタイト云フ注友デアリマス

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 唯今イロ／＼ノ御質問ヲ承ハリマスツ、此事ノ實質ト云フコトニ付イテハ、皆御異論ガナイ、形式上何トカシテ議會ノ召集ガ出來ナカッタカト云フ御尋ガアリマシテ、ツレニ付イテ、將來政府ハ斯ウ云フ場合ニハ事情ノ許ス限

ハ、議會ニ聽ク意志アルカト云フ御尋デゴザイマシタガ、固ヨリ此議會ニ諮ツデセネバナ
ラヌト云フコトハ、是ハ當然ノコトデアリマシテ、其事ハ十分ニカムルコロデナク、サウセ
ネバナヌ答ノモノト政府ハ信ジテ居リマス

○委員長元田肇君 ドナタカ何モ御意見ハアリマセヌカ——ソレデハ決テ探リマス

○吉植庄一郎君 チョット長君ノ意見ヲ確カメテ置カナケレバナラヌ、サウスルト是ガ承
諾ヲ與ヘルト云フ御意見アルガ、承諾ヲ與ヘルニ付イデハ、今ノ條件付ノ承諾デスカ、
ドウナルノデスカ、明白ニ澤山ノ言葉デナク、簡單ニ言ヒ現ハス工夫ハアリマセヌカ、言葉
ヲ極ク單純ニ——是ハ將來ハ必ズスルト云フ、今ノ政府委員ノ辯明デアレバ承諾スルト
云フノアルカ、承諾ヲ與フルニ付イデハ、何カ理由ガナケレバナラヌト思ヒマスガ

○長晴登君 私ハ決議ニ對シテハ條件付ノ承諾ト云フコトハオカシイモノダラウト思ヒ
マスカラ、決議ニ對シテハ條件ハ付ケヌ、唯將來斯ウ云フコトハナカラコトヲ希望スル、
故ニ警告ヲシテ、其警告ニ當局者ガ應ジテ居ルカラ、ソレデ差支ナイト思フ

○委員長元田肇君 ソコノ處ハ、私ハ之ヲ報告シナケレバナラヌノデカラ、モウ少シク明
カニシナケレバナラヌト思ヒマスガ、政府ノ答ハ事情ノ許ス限ハスル、併ナガラ此ヤツ時
ノ事情ト云フモノハ、許サナカッタゾト云フ、前内閣ノヤツコトニ付イデ、責任ヲ帶ビテ
答辯スルノデハナイヤウナ御言葉アルガ、ソコノコトコロガドウモ問答ト少シク明白ナラヌ
カラ、此儘デハ報告ガ出來ナカラウト思ヒマスガ……

○長晴登君 是ハ今殘デ居ルモノデハナカラウト思ヒマス、此緊急勅令ニ對シテ承諾
ヲ與ヘルカ與ヘナイカト云フコトガ、一ノ問題アル、其當時ノ事情ヲドウ見ルト云フコト
ハ、別ノコトアル、之ニ附帶シテ居ルケレドモ、別ノ問題アル、ソレデ今ノ内閣ニ責任
ヲ負ハスルコトハ到底出來マイト思ヒマス、ソレ故テ今ノ内閣ハ將來斯ウ云フコトヲヤ
ルト云フ精神アルナラバ、此憲法ノ解釋ノ意義ヲ現ハスコトハ出來ヌカラシテ、ソレハ相
當ノ形式ヲ以テ、ソレデケノコトヲ明カニシテ置カナケレバナラナイト思ヒマスガ、既ニサウデ
ナイト云フコトデカラシテ、宜カラウト思ヒマス

○委員長元田肇君 ソレナラ其意味デ報告スルガ、長君ノ御質問ヤ御議論ハ此物ヲ
ツカマヘテ、將來再ビ斯様ナコトハセヌヤウニ、將來ハシナイカ、ドウカト云フ御尋ニ對シ
テ、大藏大臣ノ答辯ト長君ノ御問トクツイテ居リマセヌガ

○山田平太郎君 私ハ長君ノ最後ノ御話ニ同一ノ考ヲ持ッテ居リマス、政府ガ是ノ如
キモノ、是ノ如キ場合ニ於テ、必ズ議會ヲ開クト云フコトナラバ、ソレデ宜シト思フ

○吉植庄一郎君 サウスルト長君ニ御尋ネ致シマスガ、前政府ノヤツタ處置ハ、憲法ヲ
適當ニ解釋シタモノト認メテコトデスカ、今ノ花井君ノ說ニ長君ハ贊成シタノアルカ、
辯護サレタノアルカ、憲法ノ解釋ヲ適當ニ解釋シナイデ、斯ウ云フコトヲシタノハ甚ダ宜
クナイコトアル、宜クナイコトデアルケレドモ、此事ハ外國ノ事ト牽聯シタモノデアルカラ、
又事既ニ終ッデシマッタノデアルカラシテ、已ムヲ得ナイモノトシテ、之ヲ承認スルト云フノデ
アルカ、又ハ將來ニ於テ國務大臣タル者ガ、此憲法ニ遵據シテ、必ズ斯様ナコトハセヌ
ト云フヤウナコトヲ附加ヘルコトヲ希望シタノデアルカ、是ガ私ニ先刻カラノ御話ガ能ク分
リマセヌカラ、モウ少シ之ヲ具體的ニ御話シテ貰ヒタイノデス

○長晴登君 私ハ詰リ是ニ承諾ヲ與フルト云フニ當ッテ大藏大臣ニ警告ヲシタ、其警

告ハ將來斯様ナ場合ノ時ニハ議會ヲ開イデヤルヤウニシナケレバナラヌト云ツタノアル、ソ
レヲスルト云フノデアルカラ、將來吾々ノ憲法ノ解釋ト同一ニナルヤウデアル、ソレ故此案
ニ付イデハ承諾ヲ與フルト、斯ウ云フノデス

○委員長元田肇君 ソコデス、ソレニ對シテ大藏大臣ノ御答ハ、是ノ如キコトハシナイ
ト云フヤウナコトハ何ニモ言ハヌ、事情ガ許ス限ハ勿論ヤル、ソレハ政府モ認ムルコロデ
アルト云フヤウナコトデアアルガ、ソレヲ明カニシタイト思ヒマス

○花井卓藏君 ソレデハ一ツ大藏大臣ニ聽イテ置キタイ、長君ノ御發議、吉植君ノ御
疑惑ニナルヤウナ點ニ牽聯シテ、現内閣ガ今後斯ル場合ニ際シタナラバ、此通ニヤルカ
ドウカ、ソレヲ一ツ聽キタイ、サウスルト直ケ問題ガ分ルヤウニナル

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 現内閣ガ此場合ニ居ッタナラバト云フコトハ、大
變ムツカシイコトデ、ソレハ其當時其事ヲ料理スル上ニ付イテ諸般ノ事情ヲ綜合シテ事
ヲ致サナケレバナラヌノデアリマスカラ、既往ノ場合ニ遡リマシテ、ドウスルト云フヤウナコト
ハ、此處デハ申上ケラレマセヌ、併ナガラ此時ハ時間ガ極メテ密接シテ居ッテ、事實召集
ノ餘地ガナカッタト云フコトハ、是ハ認メテ宜カラウト考ヘマス、ソレカラ將來ニ於テ斯ウ
云フ場合ニハ、議會ヲ召集ガ出來ルモノデアレバ召集スルコトハ勿論ノコトデス、ソレハ其
時ニ於ケル内外ノ情勢ト云フモノニ依ッテ判斷シナケレバナラナイコトダラウト思ヒマス、
尙一言加ヘテ置キマスノハ、是ガ不承諾ニナツデモ差支ナイト云フコトヲ花井君ガ仰シ
ヤイマシタガ、此勅令ハ憲法ノ第八條、及第七十條ニ依ッテ云々ト云フコトニナラ居
リマスカラ、單ニ七十條バカリデアリマセヌ、其關係スルトコロハ、私ハ御考慮ヲ要スル
コト、思ヒマス、切ニ御承諾ヲ希望シテ置キマス

○花井卓藏君 一言致シタウゴザイマス、唯今大藏大臣ガ本案ハ憲法ノ七十條ノミ
ニ依ッテ發シタモノニアラズシテ、憲法八條ニモ基イテ發セラレタモノデアルカラ、此承諾
ノ結果ハ影響スルトコロガデアルカラ、御考慮ヲ願フト云フコトデ、御心配マデモナク
常ニ考慮シテ居リマス、憲法ノ八條ハ法律ニ代ルベキ命令ヲ發スル勅令ニ緊急勅令
ガ係ッテ居ッテ、ソレカラ第七十條ハ、緊急ノ需用アル場合ニ於ケル、而シテ内外ノ狀況
帝國議會召集不能ノ場合ニ於ケル財政上必要處分ヲ許スノ規定ニナラ居ル、兩者
各々違ッテ居ル、八條ハ法律ニ代ルベキ命令、七十條ハ財政處分ノ一手段ガ政府ニ授
ケラレアル條文デアッテ、併ナガラ外債ヲ募集スルト云フコトハ、矢張法律ニ據ラナケレ
バナラヌ、外債ヲ募集スルト云フコトハ法律ニ據ラナケレバナラヌノデアアル、其募集スル
原因ト相成ルベキ處分ト云フモノハ、緊急ノ場合ニアリテハ七十條ニ據ッテ行フト極
居ル法律ヲ出サナケレバナラヌガ、七十條ニ據ルガ如キ狀況ナルガ故ニ、法律ヲ出スコト
ガ出來ヌカラ、ソコデ八條ノ規定ニ基イテ命令ヲ出ス、是ハ一向差支ナイ、サウシテ七
十條ノ末項ヲ御覽ニナレバ分リマスガ、七十條ノ前段ノ處分ヲナシタル場合ニ於テハ、
必ズ帝國議會ニ提出シテ其承諾ヲ求ムルヲ要スト云フコトニナラ居ル、財政處分ニ對
スル八條ノ法律ニ代ルベキ命令ノ分ハサウアルノデナイ、必ズ次ノ帝國議會ニ提出スベシ
トアリマス、要件トシテナイ、提出シナケレバ亂暴ナ政府ダト云デ彈劾ノ材料ニナル、七十
條ノ方ハ出サナケレバナラヌ、出シタ上承諾ヲ得ナケレバナラヌ、併ナガラ效力ハ無論ア
ル、效力ハアルノデアアル、八條ノ方ハ效力ハ承諾ヲ得ナケレバ無論ナイト云フ風ニ、理義

明白ニ掲テアラマスカラ憲法ノ八條竝ニ七十條ヲ御精讀ニナレバ直グニ分ル、七十條ハ條ニ據ラナケレバ法律ハ出セナイ、ソレハ竝ベテ書イテアルカラ、普通ノ法律ニ代ハルベキ緊急勅令ト同様デアッテ、承諾ヲ與ヘナケレバ執行ノ責任ヲ外債應募者ニ向ッテ負ハナケレバナラヌト御考ニナルノハ、大キナ間違デ、無論サウ云フ御趣意デハナカラウト思ヒマスガ、サウ云フ御趣意ナラバ無論憲法ヲ共ニ語ルニ足ラズ、ソレダケ申シテ置キマス

○山田平太郎君 私ハ長君ノ説ニ賛成シマシテ、又自分ノ賛成スル意見モ述ベマシタガ、唯今大藏大臣ノ説明ヲ聞イテ見マスト云フト、甚ダ懸念ニ堪ヘヌヤウナコトガアリマス、是ノ如キ即チ緊急勅令ヲ發シタル時ノ場合、是ノ如キ必要ノアル場合、是ノ如キ時ニ必ズ議會ニ諮ラテ貫ヒタイト云フノハ、私ノ希望デアル、然ルニ大藏大臣ハ或場合ニハ諮ルカモ知ラヌ、又諮ラヌカモ知ラヌト云フ曖昧ナ御答辯デアル、サウ云フ曖昧ナ御答辯デハ、私ハ賛成スルコトハ出來ヌ、甚ダ自説ヲ取消スノハ遺憾デアリマスガ、是ノ如ク大藏大臣ガ曖昧ナコトヲ御答ニナレバ、賛成ヲ取消シテ花井君ノ不承諾ノ説ニ賛成シマス

○長晴登君 私ノハ一ノ警告デ、一ノ希望デアル、ソレヲ希望ヲ滿スコトニシテ貫ヒタイト云フノデアルガ、大藏大臣ハソレニ對シテ希望ヲ滿スコトハ出來マセヌカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 アナタノ御希望ト云フノハ……

○長晴登君 是ノ如キ場合デ總テ臨時議會ヲ召集シテ貫ヒタイ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ論ハナイ……

○長晴登君 簡單ニ希望ニハ應ズルトカ、應ゼヌトカ云フコトヲ御答下サレバ宜シイ、理由モ何モ要リマセヌ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ御希望ノ通ニ致シタイと思ヒマス

○山田平太郎君 果シテ大藏大臣ガ今ノヤウナ御説ナラバ、更ニ戻ッテ長君ノ説ニ賛成シマス、確ト話ヲ承ッタヤウデゴザイマスカラ、再ビ元ノ説ニ戻リマス

○委員長元田肇君 私ハ決テ採ッテモ、後トテ報告ノ都合ガゴザイマスカラ、御尋ネスルノデスガ、大藏大臣ノ唯今ノ御答辯ハ、前内閣ハ議會召集ノ餘地ナシト認メタカドウカ、議會ヲ侮辱シタノカ知リマセヌガ、此際議會ヲ召集シナカッタト云フコトニ付イテハ、召集スル餘地ガアッタトカナカッタト云フコトヲ此處テ斷言ナサルコトガ出來マスカ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハドウモ困リマス

○委員長元田肇君 御答ガ出來ルカドウカ分レバ宜シイ

○大藏大臣法學博士阪谷芳郎君 ソレハ出來マセヌ

○委員長元田肇君 ソレデハモウ宜シウゴザイマセウ、ソレデハ長君ノハ承認ヲ與ヘル方デスカ、將來ノ警告ヲ與ヘテ承諾ヲ與ヘルト云フ方ニ賛成ノ御方ハ手ヲ御舉ゲ下サイ

舉手者 多數

○委員長元田肇君 三人多數デスカラ與ヘルコトニナリマシタ、是デ散會シマス

午後四時三十六分散會

明治三十九年二月二十日印刷

明治三十九年二月二十一日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局